

平成 17 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 東和メックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 堀江義光  
(コード番号 6775 東証第 2 部)  
問合せ先 経理部長 佐藤武雄  
(TEL . 03 - 5684 - 2321 )

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 11 月 12 日の中間決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 業績予想の修正

( 1 ) 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)  
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 16 年 11 月 12 日発表)	7 , 5 0 0	2 1 0	8 0	4 9 0
今 回 修 正 予 想 ( B )	7 , 1 0 0	1 2 0	2 5 0	8 9 0
増 減 額 ( B - A )	4 0 0	3 3 0	3 3 0	4 0 0
増 減 率 ( % )	5 . 3 %	1 5 7 . 1 %	4 1 2 . 5 %	%
前期 (平成 16 年 3 月期) 実績	7 , 2 0 3	2 3 4	3 2	7 9

( 2 ) 平成 17 年 3 月期個別業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)  
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 16 年 11 月 12 日発表)	6 , 8 0 0	2 0 0	8 0	3 2 0
今 回 修 正 予 想 ( B )	6 , 4 0 0	5 0	1 9 0	6 3 0
増 減 額 ( B - A )	4 0 0	2 5 0	2 7 0	3 1 0
増 減 率 ( % )	5 . 9 %	1 2 5 . 0 %	3 3 7 . 5 %	%
前期 (平成 16 年 3 月期) 実績	6 , 8 8 5	2 9 0	4 1	1

### (3) 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、売上高は主に海外部門の販売不振と国内における広告機器が価格競争激化に伴い販売単価が下落した影響により大きく減少し、予想を大幅に下回る見込であります。

利益面では、営業利益は売上減による粗利益の減少、戦略投資の実施等による費用増により大幅減、また、経常利益および当期純利益につきましては営業利益減が大きく影響し、連結・個別ともに大幅な下方修正を行うことになりました。

- \* 上記記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。
- \* 本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 平成 17 年 3 月期配当予想の修正

### (1) 修正の理由

当期業績の見通しが非常に厳しい状況にあって、予想を上回る当期純損失を計上せざるを得ないこととなるため、将来の財務体質・経営基盤を考慮し、誠に遺憾ながら無配とさせていただく予定でございます。

### (2) 修正の内容

	1 株当たり期末配当金	1 株当たり年間配当金
前回予想（平成 16 年 11 月 12 日公表）	2 円 50 銭	2 円 50 銭
今回修正予想	0 円 00 銭	0 円 00 銭
（ご参考）前期実績（平成 16 年 3 月期）	2 円 50 銭	2 円 50 銭

（注）中間配当は実施しておりません。

## 3. 来期（平成 18 年 3 月期）の事業展開について

新中期計画を進行中ではありますが、現況の業績動向を踏まえ、来期の事業計画につきましては現在策定中であります。収益確保をより確実にするために経営全般の見直し、事業推進体制の再編、コスト削減等について検討を進めております。最終利益段階での黒字化、早期復配を目指し全社一丸となって改革を推進してまいります。

以 上